

**新京成電車に「フル SiC 適用 VVVF インバータ装置」を採用
車両の主回路システム、従来比約35%の省エネ効果
2月29日（月）から運用開始、順次展開予定**

新京成電鉄(本社:鎌ヶ谷市くぬぎ山、社長:笠井孝悦)では、主力車両の8800形の車両主回路システムをリニューアルします^{※1}。今回のリニューアルでは環境負荷の低減を目指し、主回路に従来比約35%の省エネルギー効果があるシステム「フル SiC 適用 VVVF インバータ装置^{※2}」を採用します。

※1 本事業は、一般社団法人低炭素社会創出促進協会より交付された平成27年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(低炭素価値向上に向けた社会システム構築支援事業)により整備されたものです。

※2 「VVVF インバータ装置」とは、電車を動かすために架線から取り入れた直流を交流に変換し、交流モーターを効率よく制御する装置です。

【「フル SiC 適用 VVVF インバータ装置」の主な特徴】

ダイオードなどの半導体素子に SiC(炭化ケイ素)を使用することで、VVVF インバータ装置を大幅に小型・軽量化し、質量・体積ともに約80%低減。また、ブレーキ時の回生電力量が増加し、現行の8800形と比較して、約35%の省エネルギー効果があります。



「フル SiC 適用 VVVF インバータ装置」を導入した車両

